



ましては極力減色し、無理のないよう、紙傳のソク録に就いていさぐたいと思つてあります。又そのような方策にもつてよくうに審議会や都の方針要望する必要があるものではないか、うのと思つておる次第でございます。

一 三番（中西房藏君） 地元の負担という点を解消するべくには、はるより反対しても事業決定されるべきに従うべきではないか、ということ事は十分承知してあります。しかし、何んが説明もなくくくやう人だといつ事からいつの不安があるものではないか、うのと思つてあります。今後審議会からき、運営されると思ひます。しかし、現況と測量とが根本的に違つてくると思ひます。その点から考え、もっと地元民に對して紙傳いくような説明をやらなければならぬ必要があるものと感ずるわけでありまして、あまり秘密主義にならぬで、ここはべきで以上もつと

腹を割った話合ひの場を設けて、よく説明する、理事者に依頼していただきます。

一 副議長（渡井明君） ふいふ復疑を始終いたします。おわかりですか。議案第四十九号は委員長報告の通り可決いたしました。おわかりですか。異議ありませんか。

（異議なしと呼ぶ者あり）

一 副議長（渡井明君） 以異議なしと認めます。よろしく議案第四十九号は委員長報告の通り可決いたしました。

一 副議長（渡井明君） おわかりですか。一般復問の通告があります。よろしく。際日程に追加したいと思ひます。かゝるに以異議ありませんか。

（異議なしと呼ぶ者あり）

一 副議長（渡井明君） 以異議なしと認めさう決定いたします。

追加日程第二ノ般復旧を行ひます。中西議員より願ひます。  
一、二上番一中西議員「君」お救いのところ貴重な時間と拝借いた  
しして、東口並に柳通りの開発計画についてお聞かせ  
したいと思ひます。東口の開発については昨年の予算に於いて  
後、約二百萬もろく事業にかかろうとしてゐるやうです。  
が、今年度か六百萬円の予算で今日までおわけをしております。  
か、それかどういふ形になろうかとのわからないうけであります  
して、何の箇くところとりますと、非常に莫大に計画のよ  
うに承つており、地元の見解やわかれの民意を総合  
して、要は町発展に對しては、わかれは反対しておられない。喜  
んぶ賛成してゐるわけだ。ふに對してこの計画はどうか  
との、柳通りにける米の排水管に入る事になろうかあります  
か、そこは東口の玄関となる所でありまして、それの草ぼう

となり、八年前もそのおるになろうかわけですか。そこをな  
んとお開発したいという事でしたが、今から何人の話しても聞  
いておられない。又住民の優先した協力が必要だ。完成しない  
のであり、それか住宅や商店住宅にしても、はたしてそれ  
だけの人が集まるかという懸念もあります。  
私はさういふ点も優先してあります。地元にも若少資  
金面を協力してもうわけはなう。さういふ点から  
あえ、あの種々のアウトラインを出して、住民の事情に  
沿うよう、又将来の町造りに協力してもうべく説明を  
お願いしたいと思ひます。

一、都市計画課長「橋本忠義君」おかしや中西議員さんから以復  
旧がありました。通称柳通りの計画について説明を申し  
上げたいと存じます。非常に大きな構想をあえていふのは



ではないかという意見も出ており、具体的にどうするかという  
検討はしつかり、各人の事務的に都合は進めよう段階で  
おこなう。又正月中にも審議会を閉じて資料をまとめてい  
たいと思つますが、その中で、道路でなくとも格致のほうの方  
を構へて、本年夏中に特別会計ができれば来年は補助対  
象になるという事で、今その準備を進めよう段階であ  
ります。

二番（中西房蔵君）　たゞいま説明を聞いてわけです、現在あ  
そこの所がどうなるのかという心配がある、そのうち、地方民の  
しきると、いろいろ計画を、税収裡に進めると、その計画に  
対するは、何か強い、そういう事を、ある程度話して、あ  
は進んで、そういう体勢を取れると思つて、又区画整理  
のより、私設主義でやると同じ事になると思つて、ふさ  
ふさうは、ある程度の案を示して、地元民の協力を得なければなら  
ないと思つて、又、いろいろ説明を聞きますと、地元民も安心し  
てくれるものと思つて、是れ、そういう方策を構へて、それ  
を、たいと思つて、います。

三番（山下幸三君）　関連して、発言させて、たゞ、さう、い  
う、東口の問題について、中西議員から、水質問題が、さう、い  
は、三十年から、議会に出て、以来、東口整備計画も、年間も、週玉  
で、きつて、今後、加美平の、区画整理に、沿つて、大きな産業道  
路も、さう、環境整備も、しなければならぬわけ、私は、十分  
検討して、早急に、結論を出さなければならぬ、問題だと、思つて  
います。本問題については、都市計画審議会に、対し、私は、町計画と  
いう、より、都の計画の中に、持ちこたへ、青柳に、通つた産業  
道路を、さう、いふ、問題は、必要条件として、取り上げらるべ

またと因心するものなり。次の都市計画審議会に於いて理事者も十分検討するに明確な計費案を以て提案される事を是と申し上ります。

一、副議長（渡井明君）以上で本日の議題を終結いたします。

本日の日程は全部終了いたしました。因心と云う事は前日に町長から以て挨拶願います。

一、町長（坂古靖蔵君）本日は早朝より長時間にわたり、たくさんの方々に参り、慎重なる以て審議をいたさるべく心から御礼申し上げます。緊急を要する問題もありまして、これから全協を是と御願いしたいと思っております。休憩中に羽村町の井上町長等が参りになりまして、如理場の問題についての相談がなされたわけであり、さきほど瑞穂町と云う方だけ挨拶を重ね、一日も早くスムーズな解決を以て記入するよう努力して来たか、分担金に於いては三分二割で異議がないという事でござります。如理費に於いては羽村町と同じ数字を入らせて頂くべきかという事で、昨日瑞穂町では議会の開かれるやうで、さきほどに衛生町の意向を承りたいというので、羽村町としては誠に申し訳ないんが、打つ手がないので、議会で諮るべきで、結論を出して頂くべきかという申し込もを受けたいのであります。仲帯に大きな問題でありまして、如理費の面を承りますと、一年や二年の問題ではなく、長期の問題という点も承るべきです。なうなわけが、本日以て相談申し上げ、その後羽村に報告するとう事である。衛生町はどうか取り扱うべきかという点について、よろしく以て検討承りたいと存じます。

一、副議長（渡井明君）以上でもちまして昭和二十五年年度第四回福

生町議会定例会を閉会とします。長時間の協力誠に  
ありがとうございました。

午後九時十分散会

右会議の次第は書記市川昭利の記載したものとあな  
たの内容より正確なる事を証するためここに署名を  
する。

昭和三十一年十二月十九日

福生町議会副議長

佐々木 明

議員

山下 久吉

議員

平井 賢治

議員

河辺 健二 郎

